

校長あいさつ

茂 木 智 孝

本校は 明治7年に各字（そのころはそれぞれ一村だった。）で創設した4つの学校（川上学校・関学校・沼上学校・児玉学校）を母体としています。明治18年に4校の合併が行われ児玉学校となりました。明治26年4月28日には 大字阿那志字新井に校舎を新築し開校式を行い、東児玉尋常小学校と改称しました。この日が現在も開校記念日となっています。その後明治40年に現在位置に校舎を新築し移転する。以後町村合併などもあったが美里町の東児玉地区の教育を担い、数多くの卒業生を輩出しています。

また、本校は遙か昔、大化の改新に端を発する班田収授法に基づく条里制の遺構の中にあり、現在も周りは田にかこまれています。1300年あまりにわたって米作りの行われてきた歴史あるこの土地で、本校自体も5年生の総合的な学習の時間に12アールの田で米作りの体験学習を行っています。

豊かな自然と長い歴史、そしてこの地とこの学校を愛する地域の方々に支えられ、「かしこく なかよく たくましく」の学校教育目標のもと、教育活動に取り組んでいます。どうぞ本校のホームページをご覧ください。